

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	英語コミュニケーション	
科目基礎情報					
開設学科	こども学科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	3 0 時間
単位数	2 単位	授業形態	演習		
教科書/教材	『英語コミュニケーション』 能勢 規子				
担当教員情報					
担当教員	前田 久美		実務経験の有無・職種	有・英語講師	
学習目的					
「ことば」を学ぶことに対し柔軟な気持ちで臨むことで、英語に対する苦手意識を克服し、実際の現場で生きた英語でコミュニケーションをとれることを目指す。話せる、伝わることへの喜びを体得し英語を使える分野を広げる。					
到達目標					
日本語と英語の違いを理解し、英語独特のリズム、音の連結、弱化を身につけアウトプットすることの重要性を体得することで、自分の言葉で英語を表現できるスキルと文法を正確に理解でき正しく英作文できるスキルを身につける。					
教育方法等					
授業概要	解き方などのコツを受動的に聞くのではなく、クラス全体によるクラスワークやグループワークの授業活動を通して、お互いインターラクティブに学習するスタイルを導入する。各自が練習問題や実践問題に取り組んだ後、ペアーで考え方や解答を比較し、意見交換をする。その後、クラス全体で意見交換し正解を確認することにより、能動的に問題に取り組み解答できるようになる。				
注意点	* テキストやノート等必要なものは各自必ず持参する。貸出はしない。 * グループワークなど協議作業でお互いを支え合うこと。誰かひとりに負担をかけない。 * 欠席、遅刻は厳禁。欠席した場合は、速やかにその理由を報告すること。 * 相談したいことがあれば、授業の前後で、担当者に伝えること。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 （口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1 回～1 5 回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	英語学習法 解説とトレーニング		Pre-Speaking 発話練習		
2 回	Chapter 1:1-7 品詞		品詞の理解		
3 回	Chapter 1:1-7Review GMH分担分け		品詞の再確認と基礎固め GMH(長文) の 9 つのグループに分担		
4 回	Chapter 1:10-12 疑問文、etc. GMH		疑問文、命令文、感嘆文の理解 GMH グループ活動		
5 回	Chapter 1:13-17 未来系、etc. GMH		未来系、進行形、完了形 GMH グループ活動		
6 回	Chapter 2:1 5文型 GMH発表①		5 文型の理解 GMH グループ発表①		
7 回	Chapter 2:2 句、節 GMH発表②		フレーズの理解 GMH グループ発表②		
8 回	Chapter 2:3 修飾語I GMH発表③		修飾語の理解 GMH グループ発表③		
9 回	Chapter 2:4-6 修飾語II GMH発表④		修飾語の理解② GMH グループ発表④		
1 0 回	Chapter 3:1-3育児用語 GMH発表⑤		入園準備、登校園、室内遊び関連語彙と用法を理解 GMH グループ発表⑤		
1 1 回	Chapter 3:4-6遊具用語 GMH発表⑥		外遊び、健康、運動関連語彙と用法を理解 GMH グループ発表⑥		
1 2 回	Chapter 3:7-8食事用語 GMH発表⑦		食事、着替え関連語彙と用法を理解 GMH グループ発表⑦		
1 3 回	Chapter 3:9-10 工作 GMH発表⑧		工作、乳児保育関連語彙と用法を理解 GMH グループ発表⑧		
1 4 回	Chapter 3:11-12 行事		行事、連絡関連語彙と用法を理解 GMH グループ発表⑨		
1 5 回	Review まとめ Q&A		総まとめ 試験対策の確認		